

# 気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.23  
令和3年12月23日  
文責：校長 松野克己

## 第2回人権の日集会

佐志小学校では人権教育の取り組みの1つとして、年3回の「人権の日集会」を行っています。12月の校内人権週間に合わせて、第2回人権の日集会を2学級合同で行いました。12月17日（金）は3時間目に5の1と6の1、4時間目には5の2と6の2が実施し、参観させていただきました。

6年生は2クラスとも、先月の修学旅行についての報告をし、その中で平和について考えたことなどを発表していました。修学旅行の解散式の中で「見学した場所についてもう一度学び直しをしてみたい」というお願いをしていたので、それを実行してくれて嬉しく思いました。また、聞き手が来年修学旅行で長崎に行く5年生でしたから、ちょっとしたオリエンテーションになったかもしれません。

5の1は「性同一性障がい」に対する理解を深める発表でした。この言葉はずいぶん耳にするようになってきましたが、理解する、受け入れるということはまだ壁があるように感じます。小学生のうちに正しく学ぶしておくことが偏見を生まないことにつながっていくはずです。

5の2は「差別と偏見」について道徳で学んだことを発表しました。その授業で使った教材が「昔話法廷」というテレビ番組。鬼退治をした桃太郎が被告として裁かれるというもので、子供たちはその番組を見て考えたことをテーマを分けて発表していました。個人的に非常に興味深かったので、この番組についてさっそくネット検索をかけてみました。桃太郎だけでなく、赤ずきんちゃんや浦島太郎も被告になっていました。そして、演じている役者さんも、天海祐希、佐藤浩市、竹中直人、吉田羊などなど……。さっそく「桃太郎裁判編」を見てみましたが、まあ、なんとリアルなこと……。完全な法廷ドラマです。保護者の皆さんも一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。「NHK for School」のコンテンツです。



6の2の発表の様子



5の2の発表の様子

## 6年生防煙教室

12月21日（火）、学校薬剤師の小田有希子さんによる防煙教室を6年生が受けました。画像を見せながら、タバコの害について次のようなお話をされました。

- タバコにはニコチンというやめられなくなる物質が入っている。毒の缶詰のようなもの。
  - タバコを吸うと、ガン、味覚障害、口臭、集中力の低下、脳の酸素不足といった影響が出て、成長の妨げになることから、将来の職業に大きく影響する。
  - タバコを吸わなくても受動喫煙の影響を受ける。
- お話だけでなく、実際にタバコのおいを閉じ込めたペットボトルのおいを嗅いだり、クイズでおさらいをしたりして、学びを深めました。2人の感想を紹介します。



2021/12/21

岩田佳東

私は改めてタバコを吸ってはいけないなと思いました。どうしてかという、体にいろんな害があるし、吸ったけむりが他の人にも害があるからです。タバコにお金を使うより、健康なものを買ったり、コツコツためた方が絶対にいいです。日本はタバコを禁止するのいいと思いました。いぞんしょうになったりすることも、非常にこわいです。タバコも麻薬とほぼ同じだと思いました。タールやニコチンはがんになったり、肺をきずつけたりすることも知りました。もし、せんぱいなどにすすめられたとしたら、絶対にことわりません。自分の健康がうばわれるからです。なるべく、タバコを吸っている人の近くには行かないようにしたいです。タバコに含まれるほとんどの成分が毒ということが分かり、おそろしくてこわいと感じました。自分の職業もタバコのせいで限られてしまうので、とてもいやだなあと思いました。20歳以上になっても吸いません。

堀川純衣

私はタバコにはたくさんの悪いものが含まれているということが分かりました。私の身の回りには吸っている人がいないです。周りに吸う人がいても、その煙で肺が悪くなるということが分かりました。前、友達に聞いた話だと、その友達が生まれる前まではお父さんが吸っていたけど、生まれてからは子どもに悪いいきょうを与えるからやめたという話を聞きました。やめられるのはすごいと思いました。私は1回したらやめられなくなる人なので、人生で1回も吸わないようにします。タバコを吸うと集中力が切れてしまうことも分かりました。また、タバコにふくまれているニコチンが切れたら、また吸って、切れたらまた吸ってと依存になることも分かりました。前、お好み焼き屋に行ったとき、タバコを吸う人の部屋と吸わない人の部屋が分かれていて、今日、吸っていない人にもいきょうがあることが分かって、なるほどと思いました。私は将来、吸わないようにします。

2021年(令和3年)の年末を迎えて・・・

今年もコロナ感染防止に苦慮した1年でした。感染が広がってまるまる2年が経ちますし、この1ヶ月ほどは県内の新規感染はなかったものの、オミクロン株という影が国内にも広がる様相を呈しています。完全な終息が全くイメージできない今日、あまり好きな言葉ではありませんが、「Withコロナ」という考え方をもって過ごしていくことが大切なようです。

事実、この2学期を振り返っても、臨時休校と短縮授業からのスタートでした。デスクシールドの常時活用など、これまで以上の対策強化が求められました。そんな中でも、これまで取り組んできた様々な取り組みをなくしたくないという思いをもって、工夫しながら行事や体験活動を行ってきました。人数制限を設けての運動会や授業参観、日帰り2日の修学旅行、密を避けながらのバス旅行、多目的室や音楽室といった広い場所を活用しての人権教室、1年生の手洗い教室、低学年の「えいごであそぼう」、4年生の福祉体験活動、6年生の防煙教室など・・・。他にも2年生の芋掘りや中学年のそろばん教室、5年生のワカメの養殖体験なども行いました。こうやって書き出してみて気づくのは、たくさんの地域の方に支えられて学習できているということです。もちろん、他校でもこのような活動は行っていますが、公民館での活動も含め、本校は地域の応援団に支えられていることを強く感じています。子供たちには、そのことを当たり前と思わず、感謝の気持ちをもつことを明日の終業式では伝えるつもりです。

あと10日足らずで新しい年、2022年、令和4年を迎えます。4月には進級が待っていますし、6年生は中学生となります。3学期は次の学年への準備期間、まとめの学期となりますが、短い期間で中だるみしにくいからこそ、目標をもって過ごしやすいのが3学期です。これも明日の終業式で伝えようと思っていますが、「健康・やる気・思いやり」を佐志小学校の3学期のキャッチフレーズにしたいと考えています。

- 「健康」・・・コロナ感染対策はインフルエンザ感染防止にもつながります。マスク着用や手指の消毒などを油断せず継続したり、縄跳びなどの外遊びによる体力作りも奨励します。
- 「やる気」・・・進級や進学に向けての復習の時間が多くなります。仕方なく勉強ではなく、やる気をもって取り組むことが習得にとって大切です。
- 「思いやり」・・・思いやりは良好な人間関係を築くための土台です。社会で生きていく上で最も大切な要素と言えるかもしれません。

最後になりましたが、保護者の皆様には、本校の教育や職員に対する日頃からの温かいご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。どうぞお子さんとともに、よき新年をお迎えください。